向き合って、学び合って、未来をつくる下永谷



横浜市立下永谷小学校 学校だより 3月号

『表現力・発信力』

校長 鈴木 陽一

皆様のおかげをもちまして、3月19日(火)に、卒業証書授与式を無事行うことができました。今年は、インフルエンザの流行があり、やむなく当日参加できなかったお子さんたちもいましたが、卒業証書をお渡しし、161名全員が下永谷小学校を卒業していきました。卒業証書授与式の私の話では、卒業生の皆さんの『表現力・発信力』のすばらしさについて話しました。巣立ちの会では、プレゼンテーション・劇・合奏・合唱・運動など様々な方法で今自分自身の考えや思いを表していました。また、運動会などの様々な行事での表現、作文、スピーチ、パンフレット、ポップ、標本など様々な方法で、自分の思いや考えを発信してくれました。国語の学習で、5年生に向けて、一人一人が自分で作ったプレゼンテーションを使い、「親への感謝」「努力の大切さ」「夢」など、今の思いや考えを伝えていた姿は、実に立派でした。そして、卒業証書授与式に取り組む姿勢・思いのこもった態度が素晴らしかったです。そんなカも一朝一夕に身につくものでなく、日々の学習や個々の努力の成果だと思います。表現力を培うのには、まず、自分自身が考えや思いをきちんともたなくてはなりません。そして、それを「誰に伝えるのか。」「わかりやすくどのように伝えるのか。」など、相手意識をもって発信することが大切であると伝えました。卒業後も、自分のよさや可能性を信じて、表現力・発信力に磨きをかけ、自分自身の未来を切り拓いていってくれることでしょう。夢と希望をもって次のステップへ進んでいくことを願ってやみません。

また、在校生代表として、卒業証書授与式の予行や前日準備、6年生を送る会の運営に、5年生は気持ちを込めて取り組んでくれました。4月からは最高学年として下永谷小学校を引っ張っていこうという気持ちが伝わってきました。1~4年生の皆さんも、新しい学年への期待と希望をもって進級していってくれることでしょう。

私事ではありますが、3月31日をもって異動となりました。この4年間、まさに感染症対策の連続の中での勤務となりました。感染症の感染予防のためとはいえ、児童の皆さん、保護者の皆様には、多くの制約や我慢を強いる場面が多くあり大変心苦しく思っています。そんな中、本校の教育活動へのご理解ご協力を賜りありがとうございました。また、地域の皆様には、子どもたちをいつも温かく見守り支えていただきましたこと感謝申し上げます。これからも下永谷小学校をよろしくお願いいたします。たいへんお世話になりました。皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。